

地域医療支援病院業務報告書

1. 概要

病院名	フリガナ	ヒョウゴケンリツアワジイリョウセンター
		兵庫県立淡路医療センター
所在地		兵庫県洲本市塩屋1-1-137
開設者		兵庫県知事 齋藤 元彦
代表者氏名		鈴木 康之
承認年月日		2001/10/22

2. 業務報告

対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
------	--------------------

◇紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上	
紹介率	A/B	73.9%
※患者数は延べ人数	A：紹介患者の数	11,421人
	B：初診患者の数	15,434人
逆紹介率	C/B	72.0%
※患者数は延べ人数	C：逆紹介患者の数	11,121人

◇共同利用の実績

医療機関延べ数 (うち開設者と直接関係のない医療機関延べ数)	1機関 (1機関)
共同利用病床数	12床
共同利用病床利用率	0.0%
共同利用の範囲	当該病院の施設・設備の一部
共同利用施設・設備	(1) 建物：地域医療連携室、図書室、会議室、検査室、病棟 (2) 設備及び器械・器具：CT、MR、内視鏡、RI、骨密度測定装置、その他検査器具 (3) 病床数：12床
登録医療機関数	116機関
共同利用に関する規定の有無	有

◇救急医療の提供の実績

優先的に使用できる病床	28床
専用病床	10床

救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者	3,104人	(1,791人)
上記以外の救急患者	3,904人	(1,179人)
合計	7,008人	(2,970人)

※延べ人数。括弧内は、うち入院を要した患者数

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

◇地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

研修の内容	淡路医療センターに勤務する医療従事者、淡路圏域に勤務する医療従事者（医師、看護師）のために講師等を招き、知識、技術、資質の向上を目的として、急性期医療・高度専門医療を担う地域医療に貢献できる人材を育成する。	
研修の実績	地域の医療従事者への研修回数	13回
	合計研修者数（うち院外参加者）	624人（148人）
研修体制	研修プログラムの有無	無
	研修委員会の設置の有無	無
	研修指導者数	0人
研修施設	大会議室	158.2㎡
	中会議室	89.0㎡
	小会議室	46.4㎡
	スキルアップセンター	105.8㎡
	図書室	69.9㎡

◇診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者	院長 鈴木 康之	
管理担当者	総務部次長兼総務課長 木村 剛志、医事企画課長 たが 英史	
診療に関する諸記録の保管場所	電子カルテ、病歴管理室、倉庫	
病院の管理及び運営に関する諸記録の保管場所	共同利用の実績	地域医療連携室
	救急医療の提供の実績	救命救急センター
	地域医療従事者向け研修の実績	総務課、看護部
	閲覧実績	総務課、看護部
	紹介患者等の帳簿	地域医療連携室

◇診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	院長 鈴木 康之	
閲覧担当者	次長兼総務課長 木村 剛志、医事企画課長 たが 英史	
閲覧の求めに応じる場所	総務課、地域医療連携室及び医事企画課	
閲覧者別延べ件数	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	47件
	合計	47件

◇第九条の十九第一項に規定する委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2回
----------	----

◇患者相談の実績

相談を行う場所	医事企画課、相談窓口、地域医療連携室、認知症疾患医療センター、がん相談支援センター
主たる相談対応者	医事企画課2名、看護師1名、医療ソーシャルワーカー5名、精神保健福祉士4名
相談件数	20,336件
相談の概要	(1) 治療中の心理的・社会的問題の解決、調整援助 (2,252件) (2) 退院援助 (転院含む) (15,611件) (3) 社会復帰援助 (184件) (4) 受診・受療援助 (1,257件) (5) 経済的問題解決、調整援助 (404件) (6) 地域活動・その他 (628件)

◇その他地域医療支援病院に求められる取組み

病院機能第三者評価	有
役割に関する情報発信	有
退院調整部門	有
地域連携クリティカルパスの策定	有

兵庫県立淡路医療センター